

## 学校環境衛生検査「教室等の空気」について（結果）

1 期 日 平成30年12月5日（水）6校時

2 実施者 学校薬剤師 柴内聖子先生



3 結 果

教室	2年7組		3年6組	
在室人数	29名		38名	
計測時	授業開始時	授業終了時	授業開始時	授業終了時
<b>二酸化炭素</b> 【基準値：0.15%以下】	△ 0.17%	× 0.20%	× 0.20%	× 0.30%
湿度 [インフル予防湿度：50～60%]	40%	41%	41%	47%
備考	選択授業のため、在室人数が通常よりも少なかった。		欄間は開放していたが、廊下側の前後の扉はどちらも閉めていた（授業は自習）。	

教室	3年7組	職員室
在室人数	41名	13名
計測時	授業開始時	授業中間時
<b>二酸化炭素</b> 【基準値：0.15%以下】	○ 0.10%	× 0.20%
湿度 [インフル予防湿度：50～60%]	37%	46%
備考	前の時間は「体育」のため、教室に誰もいなかった。このクラスは、授業中に窓も少し開けていた。	今年は加湿器を設置している。昨年の測定結果は、湿度37%であった。

※一般的には「二酸化炭素が0.30%を超えた場所に3時間程度いると、頭痛や目まい、眠気などの症状が出てくる」と言われています。

### 4 柴内先生からのアドバイス

(1) 休み時間に数分間でいいので「**窓を開けて → 外気を入れて → 空気の流れ**」を作りましょう。

(2) 昨年よりも二酸化炭素濃度が低くなっています。今後も、「**欄間の開放**」を継続してください。